

# 命守る5議席必ず

10/5  
3.26  
(本)



「戦争する国づくりは許しません」と訴える（左から）東、河田、田中、林、竹永の5候補＝岡山市役所前

地方選で2度目の政令市議選（46、6減）がたたかわれる岡山市で、日本共産党は北区（定数20、1減）で河田正一候補（66）と、田中のぞみ候補（39）が、中区（同9、2減）で林じゅん候補（44）が、東区（同6・1減）で竹永みづえ候補（52）が、南区（同11・2減）で東つよし候補（39）が再選をめざし、現有5議席確保に挑んでいます。

「子どもにもっといい野菜や、肉、魚を食べさせたの」に、「見るだけで我慢ね」と言い聞かせ、悲しくなる。消費税が10%になつたらと不安。「安倍政権は怖い、時代が逆流しそう。共産党に頑張ってもらって、大きく右に回っているかじを、せめて真ん中ぐらいいにもどしてほしい」と寄せられる市民の声。

## 異常正さぬ議会

大森雅夫市長になって1年半、大型事業が一気に浮かし、市の借金が増加に転じました。進めようとする路面電車の岡山駅乗り入れは、いまの駅前電停からわずか180ほど軌道を延ばすだけです。再開発計画も8カ所におよび、不要

## 岡山市議選

# 国保料値上げ8年連続ストップ

不急の開発に前のめりです。こうした市長にノーといえないのが他会派の議員です。住民の反対を押し切つて強行しようとする新斎場用地は、産業廃棄物処分場跡地なのに4億6千万円もの異常な高価で購入。共産党以外反対はたった3人でした。

一方、消費税増税に伴う市民負担増や介護保険料の値上げにこそって賛成。年金削減中止の請願を否決し、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求めた陳情は自民、公明などの反対で否決されました。

## 運動と結び実現

市長にも、国の悪政にもノーといえない議会のなかであって、日本共産党の5人の議員は、市民運動と結んで市政を動かす、暮らし、福祉を守る市民の命綱となつていきます。

市民とともに毎年3万人の国民健康保険料値下げを求め、署名を集め、2015年度も一般会計から28億

# 待機児解消へ保育園13園新・増設

5千万円を繰り入れさせ、8年連続国保料値上げをストップさせてきました。毎議会のように拡大を求め、昨年11月には父母たちが1万余人の署名を提出していた、子どもの医療費無料化拡大（現在通院は就学前、入院は中学生まで無料）は、16年度から小学生は1割負担に軽減が実現。

待機児解消へ保育園13園の新・増設をさせるなど、願いを実現してきました。自民党は、いっせいで地方選を安定政権の関門と位置付け、これまで無所属だった議員や候補が自民党を名乗り、安倍首相や国会議員と連名のポスターを張り巡らすなど、自共対決の激戦です。

河田、竹永、林、田中、東の5候補は「市民の命のかかった選挙です。『戦争立法』反対の声を日本共産党に。5人全員当選で国保料の引き上げを許さず引き下げを。子どもの医療費は中学卒業まで無料に。不要不急の大型開発をやめ、暮らし、命優先に」と訴えています。